

三位一体後第二主日礼拝  
説教『神の完全を身に帯びなさい』

山根眞三師  
司会 高橋圭子さん  
奏楽 白石百合子さん  
招詞 エペソ人への手紙6章10～18節  
主の祈 (564)  
讃詠 5 4 6  
交読詩編 詩106編 24～48節  
祈禱  
讃美歌 2 4 3  
使徒信條 (566)  
聖書 マタイ福音書5章38節～48節  
説教 (口語訳7頁、新共同訳8頁)

『神の完全を身に帯びなさい』

祈禱  
讃美歌 21 - 3 9 2  
献金  
感謝報告  
頌祝  
後奏

次週の礼拝(三位一体後第二主日礼拝)  
説教『矛盾した私を愛してくれて…』  
ローマ人への手紙 7章14節～25節  
招詞マタイ福音書18章21～22節、交読詩編143編  
讃美歌 546、383、21-446、543

礼拝当番  
今週 20日 司会 高橋さん 献金 剛家さん  
次週 27日 司会 吉丸さん 献金 根角さん  
会堂清掃奉仕 10月25日(金)  
午後4時～ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

★教会学校 午前9時45分  
★コーヒータイム 礼拝後～  
密に注意し、それぞれの思いを語り合しましょう。  
★『障害者と教会』問題を考える集い・分区信徒大会  
午後2時30分～ 会場：東広島教会  
テーマ『精神保健の現場に身を置いて感じ考えた  
教会問題』講師：濱田裕三牧師(東広島教会)  
詳細はポスターをご覧ください。

皆で一緒に参加しましょう。  
今週の集会/スケジュール

★聖書を読む会(新設) 10月22日(火)10:30～  
週日のひとときを聖書に親しみましょう。  
今回は共に聖書の出会い方を話し合しましょう。  
※めぐみ幼稚園芋ほり遠足 10月25日(金)9:30～  
井口にある畑に行きます。覚えてお祈り下さい  
★牛田墓苑合同礼拝・交流会 10月26日(土)14:30  
墓苑礼拝後個々のお墓の清掃等と見学をします。

次週以降のスケジュール等

●レコードコンサート 10月27日(日)13:00～15:30  
ベートーヴェン 交響曲第一番ハ長調/第二番ニ長調  
ブラームス 交響曲第二番ニ長調Op73  
※学校法人広島西部教会学園理事会・評議委員会  
10月27日(日)13:30～ 三階和室会議室  
上半期決算・補正予算、新年度以降について  
♪ヒロシマハンドベルリンガーズコンサート  
10月28日(月)12:30～ 庄原市民会館多目的ホール  
山根由美子さんが指揮をされます。お祈り下さい。

★聖徒の日・永眠者記念礼拝 11月3日(日)10:30～  
永眠された方々を覚えます。皆さんがこの一年に新しく覚えられた方々のことをお知らせ下さい。永眠者名簿に掲載します。

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	2	8	10

◇今週の説教要旨(三位一体後第二主日礼拝)  
『神の完全を身に帯びなさい』マタイ福音書5:38～48  
幾度か話したことだが、しっかりと覚えておきたい。  
私が中学生の頃、世界最古の成文法と教えられたのが  
ハムラビ法典。しかし今では四番目に古いとされている。  
しかし目には目、歯には歯のような教えとしては最古。  
これは報復を進めるものと誤解されてきた。しかしそう  
ではなく、報復を制限するものだった。それは古代イスラ  
エルでも律法の中で認められていた。過剰な報復の禁止  
が。ところが現代のイスラエルはどうだろうか。ハマスの  
絶滅するまではとまで言われている。イエスの言葉に戻  
ろう。目には目とあるが、敵を愛し迫害する者のために  
祈れと。更に神の不公平さを示す。イエスはそのような  
形で神の完全を示しているのだろうか。どうしてあなた  
はそんなに不公平なのかと問いたくなることは幾度もあ  
る。時には自分は神に愛されていないのではとまで思っ  
てしまうことすらあるのではないだろうか。それが神の  
完全と言うのだろうか。私たちはとすると神の愛は私に  
個別に注がれることを求めてしまう。しかし神の愛はも  
っと普遍的に、広く注がれているのだと。広く普遍的  
に注がれるが故に私は不公平感を感じることもある。そ  
んなに覚える私達にイエスは教える。あなたが親しくし  
、良い関係を持っている人を愛しているとしても、どん  
なに豊かさがあるのだろうか。そのようなことは普通の  
ことではないか。そうではなく、あなたに良い関係を  
示そうとしない人を愛するように努力することが求めら  
れるのだ。否それ以上に自分を迫害する者のために祈  
るように。このような関係の中に戦いは起こらないと思  
われる。イエスを信じ、求める人々はイエスが実践した  
愛に生きる人なのだから。マタイ福音書によればこの  
教えは山上の説教の一環として語られた。イエスから  
励ましと慰めを得ようとした人々なのだ。私たちには  
っきりと神の完全を真似よと。